

令和元年度 港南区区民意識調査 結果報告

港南区役所では、区民の皆さまの生活環境に対する意識等を把握し、今後の区政運営に役立てることを目的に、区民意識調査を令和元年6月に実施しました。

今回の調査では、「生活環境」「区政全般」「災害対策」「地域活動」「健康づくり」等前回調査（平成29年度）から継続した内容に、新たに「食品ロス」等の調査項目を追加しました。

この度、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。当調査結果は、自治会町内会をはじめとした地域の皆さまと共有し、「協働による地域づくり」に生かしてまいります。

◇調査の概要◇

調査対象：港南区区内にお住まいの18歳以上の方4,000人（40人の外国籍区民含む）

抽出方法：住民基本台帳等から無作為抽出

回収数等：2,145票（回収率53.6%）

調査期間：令和元年5月15日～6月17日

調査方法：郵送による配布・回収 ※回収は電子申請・届出サービスも併用

◆調査結果のポイント◆

・経年で確認している調査項目については、前回調査（平成29年度）結果と概ね横ばいの結果となりました。

・港南区に住み続けたいと思っている方は81%

前回調査（平成29年度）に続き、「住み続けたい」と「やや住み続けたい」の回答の合計が81%に上り、多くの方に暮らしやすいと感じていただいています。

・防災に関する情報の入手手段は、テレビ86%、インターネット61%

防災に関する情報の入手手段としては、テレビが圧倒的に多数を占めました。

年代別では、テレビやラジオは年代が上がるほど割合が高くなり、インターネットは年代が下がるほど高くなる傾向です。また、ツイッターやフェイスブックなどのSNSは、10～20歳代で2人に1人程度が情報の入手手段としています。

・食品ロスの削減の取組のうち日常生活の中でできる取組は高い割合で実践

「外食の際には食べきれる量を注文する（74%）」、「料理を残さず食べきる（72%）」など、日常生活の中で取り組みやすい項目が上位になりました。

一方、「食品を必要とするところへ寄付する」など食品ロス削減に向けた新しい活動（フードドライブ活動）については取り組む割合が低くなっています。

調査結果報告書は、下記区ホームページや区役所1階区政情報コーナー、区内地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスにてご覧いただけます。

【区民意識調査 URL】<https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kusei/kocho/ishiki.html>

港南区区民意識調査

検索

お問合せ先

港南区区政推進課長 林 豪 Tel 045-847-8320